

## 平成24年度 大和郡山市立校園管理職研修会 開催報告

- 1 日 時：平成24年7月31日（火）14時00分～16時00分
- 2 場 所：大和郡山市矢田町 矢田コミュニティ会館
- 3 主 催：大和郡山市教育委員会
- 4 講 師：（ファシリテーター）濱 尚美（クロスロード研究会代表）  
（コメンテーター）NPO法人都市災害に備える技術者の会 } 片瀬範雄  
神戸防災技術者の会 } 栗田聡也  
神戸防災技術者の会 }  
（陪席）NPO法人都市災害に備える技術者の会 伊藤東洋雄 柏田勝幸
- 5 対象者：大和郡山市立幼稚園（11園）、小学校（11校）、中学校（5校）の管理職 計57名
- 6 演 題：「居安思危（伝承&クロスロード）」  
補足）この題名は『こあんしき』と読みます。

中国の孔子が編集した史書「春秋」という書の注釈書「春秋左氏伝」にある句です。

意味は『平安無事のときにも、危難に備え用心を怠らないこと』という意です。

なお、本研修会の開催の趣旨について教育委員会の松原義文指導主事に記載いただいた内容は下記のとおり

本研修会は、大和郡山市教育委員会が市立幼稚園・認定こども園、小学校、中学校の管理職（校長、教頭・副園長）を対象に毎年行っています。

また、学校運営や教育活動における諸課題について、すべての教職員が共通認識をもち、一体となって課題に取り組むための一助とするのがその趣旨です。

### 7. 研修内容

14:00～14:10 開会行事 赤井繁夫教育長による挨拶と講師紹介

14:10～15:50 クロスロードと各問コメント

15:50～16:00 質疑応答

16:00～16:10 閉会行事 真田和則校園長会長挨拶と謝辞

### 8. 【クロスロードとコメントの内容】

- 1問：あなたは・・・校長先生 大地震を受けて、学校として防災教育に取り組む予定。  
その際、地震の訓練に加えて、津波の訓練も行う？

※コメント：直下型地震（兵庫県南部地震）とプレート境界型地震（東北地方太平洋沖地震）の違い。奈良地方にも木津川断層地震が発生した記録がある。

兵庫県南部地震が発生する前の発生予測確率と奈良盆地東縁断層帯の発生予測確率の比較。

全国・全世界にはばたく子供たちが津波について最小限の知識は必要など

- 2問：あなたは・・・先生 未明の大地震で、自宅は半壊状態。辛うじて怪我はなかったが、家族は心細そうにしている。電車も止まって、出勤には歩いて2～3時間が見込まれる。出勤する？

※コメント：阪神・淡路大震災発生時の神戸市職員の出勤率。阪神淡路大震災発生時の片瀬宅被災状況写真。

倒壊家屋の下敷きの人の8割は地域の人が救出。

避難所運営にあたるため、出勤訓練も。

3問：あなたは・・・教頭先生 被災から数時間。避難所には1,000人が避難している。現時点で確保できた食料は300食。以降の見通しは今のところなし。まず、300食を配る？

※コメント：避難所の運営で地域の人がリーダーのタイプがスムーズな運営が。そのため地域ぐるみで訓練も。

4問：あなたは・・・園長先生 大地震から一ヶ月が経過。市内で仮設住宅が100戸まだ不足している。市役所は園庭に30戸だけでも建てたいと言っている。建てることを了解する？

※コメント：仮設住宅の状況写真による紹介。

神戸市では学校園に建設することは子供たちの環境確保から避けた。

5問：あなたは・・・市民 あなたの住む家は築40年、家族は4人。先日専門家の耐震診断を受けたら、阪神・淡路大震災級の地震で倒壊する危険がありとの結果。耐震補強の費用は約200万円。ローンを借りなければ払えない。耐震補強をしてもらう？

※コメント：耐震補強には補助制度があることの紹介。Eディフェンスでの耐震補強した家としていない家の倒壊比較映像の紹介。家具の安全な配置方法の紹介。全壊、半壊の認定は義捐金を多くの被災者により早く配布したい思いで発行（義援金の多寡のみならず、銀行融資などにも適用されたため混乱も生じ）。新潟沖地震以降査定が厳格になっている。

6問：あなたは・・・川沿いの集落に住む住民。母（65歳）、妻、小学生2人の5人家族。激しい雨が降り続けている。洪水の危険があるとして避難勧告を防災無線で知った。しかし、深夜12時。今すぐ避難を始める？

※コメント：避難指示が出る前に自分で判断することの大事さ。

釜石の奇跡の紹介。（岩手県の小中学生のほとんどが助かったのは、群馬大学の片田敏孝教授の指導による自分の頭で考える防災教育の効果が大きい）

大川小学校の悲劇の紹介。（宮城県石巻市の大川小学校で全校児童108人のうち74人が死亡・行方不明、先生も10名が亡くなった）

7問：あなたは・・・先生 避難所で人手の足りない中、体力のある生徒が頼りにされている。受験を控え、勉強にも取組ませたい。手伝いをやめて、勉強に専念させる？

8問：あなたは・・・校長先生 地域で避難所開設・運営訓練を計画している。

日曜日に開催するので、学校を使いたい。子供も参加するので、学校も協力して欲しいと言われている。協力する？

このうち6～8問については学校園などでも活用いただくために、先生自らファシリテーター役を行っていただく研修を行った。

9、 ふりかえりシート（別紙1 ふりかえりシートまとめ 別紙2 クロスロード回答集計参照）  
研修終了後、以下の項目について記述いただいた。

- 1) 気づいたのは
- 2) 面白かったのは
- 3) 驚いたのは

- 4) 自分に足りないと思ったのは
- 5) 学んだものは
- 6) その他に、考えたこと、書いておきたいことは

主な記載を列挙すると伝承の大切さや体験の無い中での甘さ、立場の違いによる考えの多様さ、ゲーム感覚の大切さ、危機感そしてクロスロードゲームの活用などと研修で伝えたいとの気持ちを理解していただいた記述が多くあった。

#### 10 研修会後の感想など

- ・通常の研修会・講演会と違い、参加型の研修会をしたことで、参加者は和気藹々の中にも真剣に各設問に取り組んでおられた。
- ・金座布団が出る度に歓声が上がったり、青座布団を取るたびに得意顔になったりと、楽しく且つ有意義な研修会になったと感じていただいた。
- ・判断が分かれる難問に対し、各人がどのように裁断したかを聞き参考にするという所期の目的は十分に達せられたのではないかと感じる。
- ・また、設問の間にコメントとして阪神・淡路大震災の様子を盛り込むという進め方も、通常の防災研修よりも効果的であったのではないかと感じている。
- ・閉会に際し、真田和則校園長会長から頂いた謝辞は余りあるものがあり、また、閉会后、控え室での短時間ではあったが赤井繁夫教育長、西尾卓哉教育部長、芳田匡史教育部次長とのミーティングの中でも多大な感謝の言葉を戴き、何らかのお役に立てたのではないかとすることで今後も益々各地域に活動を展開していく必要を感じた。 (記録 伊藤、追記 片瀬、松原)



研修会場の様子



回答に至った考えを述べる参加者



金座布団をもらった考えを披露する参加者



一斉に「イエス」か「ノー」のカードを出す

## 【ふりかえりシート まとめ】

2012.7.31 平成24年度 大和郡山市立学校園管理職研修「居安思危～伝承&クロスロード～」

### 私が今日のクロスロードで...

#### 1. 気づいたのは

- ・いろいろな角度から考えることが必要であるということ。
- ・同じテーマでも判断の難しいことが多い。
- ・危難をいつまでも忘れてはいけない。伝承の大切さ。
- ・状況判断の大切さ。今必要なことは何かを考えること。
- ・気軽に勉強になった。
- ・絶対こうだ、という答えがないということは、実際にその場に直面したときも、バラバラの答えが出るということ。何を大事にして、何を一番にするか、個人の問題ではあるが、不安。このような研修や学校での取り組みを通して、意識を育てることが大切だと思った。
- ・奈良県は盆地で震災にはあまりあったことがないので、のんびりしていると感じている。普段からの訓練が大切。
- ・立場によっていろいろな考え方がある。
- ・私は呑気だなあ・・・。
- ・多数派と思っていた考えが、実はそうでなかったと気がついた。多様な考え方がある。
- ・判断力は、何を大切にするのかにかかっているということ。
- ・仮設住宅の建設地の市によっての違い。
- ・結構すぐに判断してしまうことがあるという事。
- ・悩んでしまうのではと思っていたが、意外と早く判断できる。
- ・様々な考え方があり、その考えにはこれまでの経験・人生観がある。
- ・実際に災害を体験していない者の考えの甘さ。

#### 2. 面白かったのは

- ・自分とは違う様々な考え方を聞き、いろいろな考え方があるのだと面白かった。
- ・クロスロードのやり方。
- ・設問が悩ましかった。
- ・ケースバイケースで面白い。
- ・答えは一つではないということ。
- ・とても大事な事を考える事柄であったが、ゲーム的に取り組めたこと。
- ・意見が分かれる課題を、ゲーム感覚で楽しめたのが面白かった。
- ・いろいろな意見を聞くことができた。自分の考えを述べることができた。
- ・コミュニケーションの練習にもこのゲームが使えることがわかった。新しいことを知るの面白い。
- ・意見が分かれた時、相手の考えを聞くのが楽しみになった。
- ・多くの意見を聞いた事。
- ・他校園の先生方のいろいろな思いが聞いたこと。
- ・いろいろな立場で考え、遠慮なく話げできたこと。
- ・教育者としての意見が多かったこと。しかし、実際に起きた時には・・・とういホンネも聞いた。
- ・同じ学校の校長T，教頭Tの意見が全く違ったこと。

#### 3. 驚いたのは

- ・考え方にもいろいろあること
- ・実際の話聞いて、自分が想像していたのと大きく違うことがあった

- ・このような危機管理をゲームにして啓発できることに驚きました
- ・判断基準、モノの見方、観点の相違
- ・耐震工事をしていないこと。あつという間に・・・逃げる間もないことに驚いた。
- ・どこかにそれぞれのこだわりがある。

#### 4. 自分に足りないと思ったのは

- ・危機感
- ・防災について普段からもっと考えておくこと
- ・のんきなところ
- ・深く考えること
- ・いろいろな考え方があり、実際にその場にいたら判断できるか、その力が足りないと思った。
- ・全体を把握する力
- ・的確な判断を求められる場面で、甘さがあるように思いました。
- ・柔軟な思考力
- ・地震に対する実際の知識
- ・家での防災の備えができていないな、と思った。
- ・災害を今、自分の身近に思っていない。
- ・自分の意見はほぼ多数意見であった。悪いことではないと思うが、もう少し大胆な意見、考えを時には持つことも必要ではないだろうか。

#### 5. 学んだものは

- ・様々な統計を元に考えて行く事の大切さ。
- ・有備無患。
- ・一つの問に対し、色々な考え方があり、良く考えることが大切である。
- ・普段からいろいろな事を想定しておくこと。
- ・いろいろな意見が聞けて良かった。命・訓練の大切さ、主体的に行動すること。
- ・普段の生活の中で「もし自分だったら・・・」という考えをしておくこと。
- ・災害に備えることの大切さ。
- ・震災のことを風化させないこと。
- ・何を大切に判断していくのかを考えること。
- ・改めて地震の時の対応の大切さを学んだ。
- ・色々な意見を短時間で聞いたことが大きな学びであった。
- ・日頃の訓練で、命を救うことができると確信した。
- ・いつ、何が起こっても不思議ではない。
- ・減災のための考え。
- ・自分と正反対の意見、今まで考えもしなかった意見に、なるほどと感ずることがあった。
- ・自分が当然イエスと思っていることでも、人は違うことを学んだ。

#### 6. その他に、考えたこと、書いておきたいことは

- ・想定外ということが次々と起こっている。天災の前では人の力は本当にささやかである。でも、今できる限りのことを考え、訓練なり学習をしていくことが必要だと感じている
- ・いろいろな意見があつて、世の中が廻っていることを再認識した
- ・ありがとうございました。とても参考になりました。
- ・様々な危機管理に直面したとき、今日のように意見が分かれた場合、どうしたらいいのか考えさせられた。
- ・良い体験になりました。良い研修でした。
- ・幼稚園の耐震工事ができないならば、市民の理解を得て、2年に1園でも良いので新築して欲しい。

別紙 2 クロスロード 回答集計													
問題番号	題名	内容	班	A	B	C	D	E	F	G	H	I	合計
1	オリジナル	あなたは・・・校長先生。 大地震を受けて、学校として防災教育に取り組む予定。その際、地震の訓練に加えて、津波の訓練も行う？	Y	0	2		4	1	3	2	2	1	15
			N	7	5		3	6	4	3	3	4	35
2	神戸編1015	あなたは・・・先生。未明の大地震で、自宅は半壊状態。辛うじて怪我はなかったが、家族は心細そうにしている。電車も止まって、出勤には歩いて2～3時間が見込まれる。出勤する？	Y	6	4		7	5	6	3	3	3	37
			N	1	3		0	2	1	2	2	2	13
3	神戸編10087レンジ	あなたは・・・教頭先生。 被災から数時間。避難所には1,000人が避難している。現時点で確保できた食料は300食。以降の見通しは今のところ無し。まず、300食を配る？	Y	4	6		3	5	4	2	5	4	33
			N	3	1		4	2	3	3	0	1	17
4	神戸編10107レンジ	あなたは・・・園長先生。 大地震から一か月が経過。市内で仮設住宅が100戸まだ不足している。市役所は園庭に30戸だけでも建てたいと言っている。建てることを了解する？	Y	6	7		5	5	7	5	4	4	43
			N	1	0		2	2	0	0	1	1	7
5	一般編20027レンジ	あなたは・・・市民。 あなたの住む家は築40年、家族は4人。先日専門家の耐震診断を受けたら、阪神大震災級の地震で倒壊する危険ありとの結果。耐震補強の費用は約200万円。ローンを借りなければ払えない耐震補強をしよう？	Y	4	6		4	5	4	3	4	5	35
			N	3	1		3	2	3	2	1	0	15
6	市民編5007	あなたは・・・川沿いの集落到に住む住民。 母(65歳)、妻、小学生2人の5人家族。激しい雨が降り続けている。洪水の危険があるとして避難勧告を防災無線で知った。しかし、深夜12時。今すぐ、避難を始める？	Y	6	4		6	5	4	5	4	4	38
			N	1	3		1	2	3	0	1	1	12
7	市民編50167レンジ	あなたは・・・先生。 避難所で人手の足りない中、体力のある生徒が頼りにされている。受験を控え、勉強にも取り組ませたい。手伝いをやめて、勉強に専念させる？	Y	3	3		1	2	3	0	0	3	15
			N	4	4		6	5	4	5	5	2	35
8	オリジナル	あなたは・・・校長先生。地域で避難所開設・運営訓練を計画している。日曜日開催するので、学校を使いたい。子供も参加するので、学校も協力して欲しいと言われている。協力する？	Y	7	7		7	7	7	5	5	5	50
			N	0	0		0	0	0	0	0	0	0